

支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和4年3月9日

実施地区	篠ノ井塩崎
事業名	令和元年東日本台風 塩崎地区災害記録誌の刊行
団体名及び代表者名	団体名 塩崎文化財保存会 代表者名 会長 石川 岩男 連絡先 026-292-6669

事業概要

<p>塩崎にとって千曲川の恩恵は大きいですが、一方で先人達が「戌の満水」、明治の大洪水等で幾度も「カスミ堤防」が決壊し村が流され、多くの死者を出して災害とたたかって来た。令和元年の台風19号で100年来なかった千曲川の越水により塩崎地区内で375戸の家屋が床上、床下浸水となった。堤外地の果樹や野菜類は全滅状態。堤内地の田畑にも大きな被害がでた。人の記憶でこのことを伝承することはできないことから、災害記録誌として本にまとめ早急に改善すべきことは速やかに対処する資料として発刊した。</p>	<p>事業完了日 令和4年1月22日 総事業費 300,000円 補助金額 200,000円</p>
---	--

活動状況の写真



令和4年3月3日の信毎で大きく掲載された

各区の区長も全員協力寄稿してくれた

事業効果

後世に伝える資料に、また反省を基に進むべき指針に役立てるとして、今回台風19号の災害記録誌が出来上がった。市の2図書館・県立歴史館・千曲市歴史文化センター・小学校・農協・諸官庁・地区正副区長、民生児童委員全員・消防団員全員・寄稿被災者外に配布した。想像以上の被害を一般の人に伝えられた実態を見て、怖さ、助け合いの必要性等がひしひしと感じ取れたと多くの声を聞き、携わってきて達成感があった。編集は宮下健司先生も含め6名の協力で作上げた災害記念誌である。

事業評価（該当欄の○）

	予定を上回る	予定通り	概ね予定通り	予定を下回る
事業の内容	◎			
事業の効果	◎			
評価理由	大好評であった			

今後の取り組み予定

地域の避難場所、避難方法等がクローズアップされたので、今後は区長会等が中心になり問題点を検討するように働きかけた。

支所発地域力向上支援金 事業評価(篠ノ井支所)

令和4年3月14日

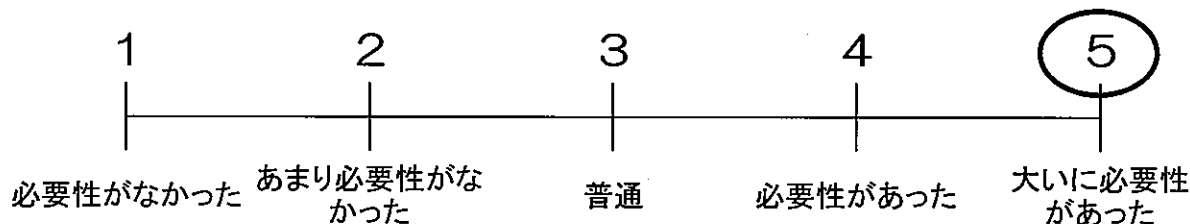
事業名	令和元年度東日本台風 塩崎地区災害記録誌の刊行
------------	-------------------------

団体名	塩崎文化財保存会
------------	----------

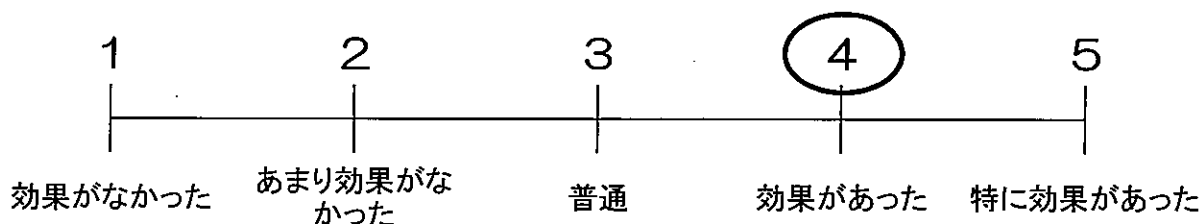
評価項目 (選考基準の視点で評価)

事業区分	安全・安心活動
-------------	---------

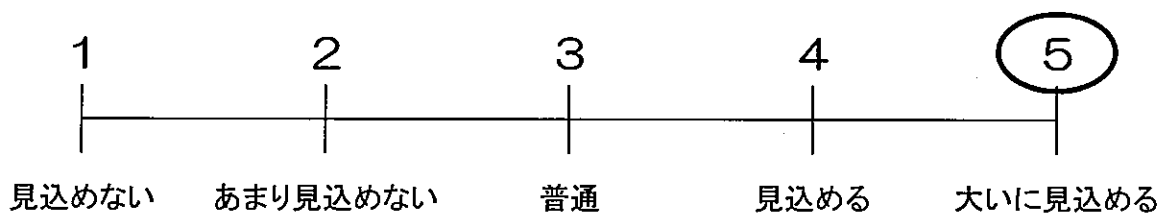
必要性



効果



将来性



支所長の総合評価 (次年度以降の活動への助言等)

令和元年10月の台風19号により、塩崎地区では床上浸水、河川敷の畑も壊滅するなどの大きな被害を受けた。この災害を風化させてはならないと、地元の文化財保存会が、被災した住家を回り、寄稿依頼や写真収集をして今回の記録誌の発刊にいたったものである。

令和3年5月20日から避難情報が変更され、これまでの避難勧告が廃止され、避難指示に一本化された。「避難」は避難所・場所への避難だけでなく、安全な親戚・知人宅、ホテル・旅館への立退き避難や自宅での安全確保(いわゆる垂直避難)も含め、普段からどう行動するか決めておくことが肝要である。本誌の発刊は、時宜を得たものであり、写真が多く見やすくなっていることから、その一助となることが期待できる。